

極域・寒冷域研究連絡会のご案内

極域・寒冷域研究連絡会より、2005年秋季大会
(神戸)での開催内容のご案内をいたします。

日時：2005年11月22日(火) 17:15～2時間程度

場所：神戸大学 瀧川記念学術交流会館大会議室
(大会B会場)

話題：オホーツク海から気候変動を探る

「オホーツク海水の数百～数千年周期の急激な拡大・縮小イベントー海底堆積物コアに残された過去12万年の記録ー」

坂本竜彦(地球内部変動研究センター)

「オホーツク海表層水温変動に影響を与える淡水インパクトー海底堆積物に残された過去12万年の記録ー」

原田尚美(地球環境観測研究センター)

「気候モデルによる過去・現在・将来のモンスーンシミュレーション」

鬼頭昭雄(気象研究所)

今回の極域・寒冷域研究連絡会は、「オホーツク海から気候変動を探る」と題しての講演会を行います。まず、2名の方に、オホーツク海の高古海洋・古気候について講演して頂きます。北半球海水域の南限であり、気候変動に敏感な領域であるオホーツク海の海底コアの研究を通じ、過去1万～数万年程度の気候変動を理

解し、さらに現在や未来の気候変動の理解へつなげようというものです。古海洋・古気候を理解する上での基本的な説明も交えながらお話しして頂く予定です。さらに、気候モデルを用いた過去及び将来のモンスーン活動の研究についての包括的な講演も予定しています。今回の講演会により異分野の研究者との交流の場を設ける事で、アジア域を中心とする気候変動研究の裾野をより広げていきたいと思っております。

代表：山崎孝治(北海道大学地球環境科学研究科)

世話人：

平沢尚彦(国立極地研究所)，

中村 尚(東京大学理学部)，

浮田甚郎(コロンビア大)，

高田久美子(地球環境フロンティア研究センター)，

阿部彩子(東京大学気候システム研究センター)，

佐藤 薫(東京大学理学部)，

本田明治(地球環境フロンティア研究センター)，

齋藤冬樹(東京大学気候システム研究センター)，

猪上 淳(地球環境観測研究センター)，

高谷康太郎(地球環境フロンティア研究センター)

問い合わせ先：

地球環境フロンティア研究センター 高谷康太郎

Tel：045-778-5526, Fax：045-778-5707

E-mail：takaya@jamstec.go.jp